

令和 8 年度第 2 回環境審議会

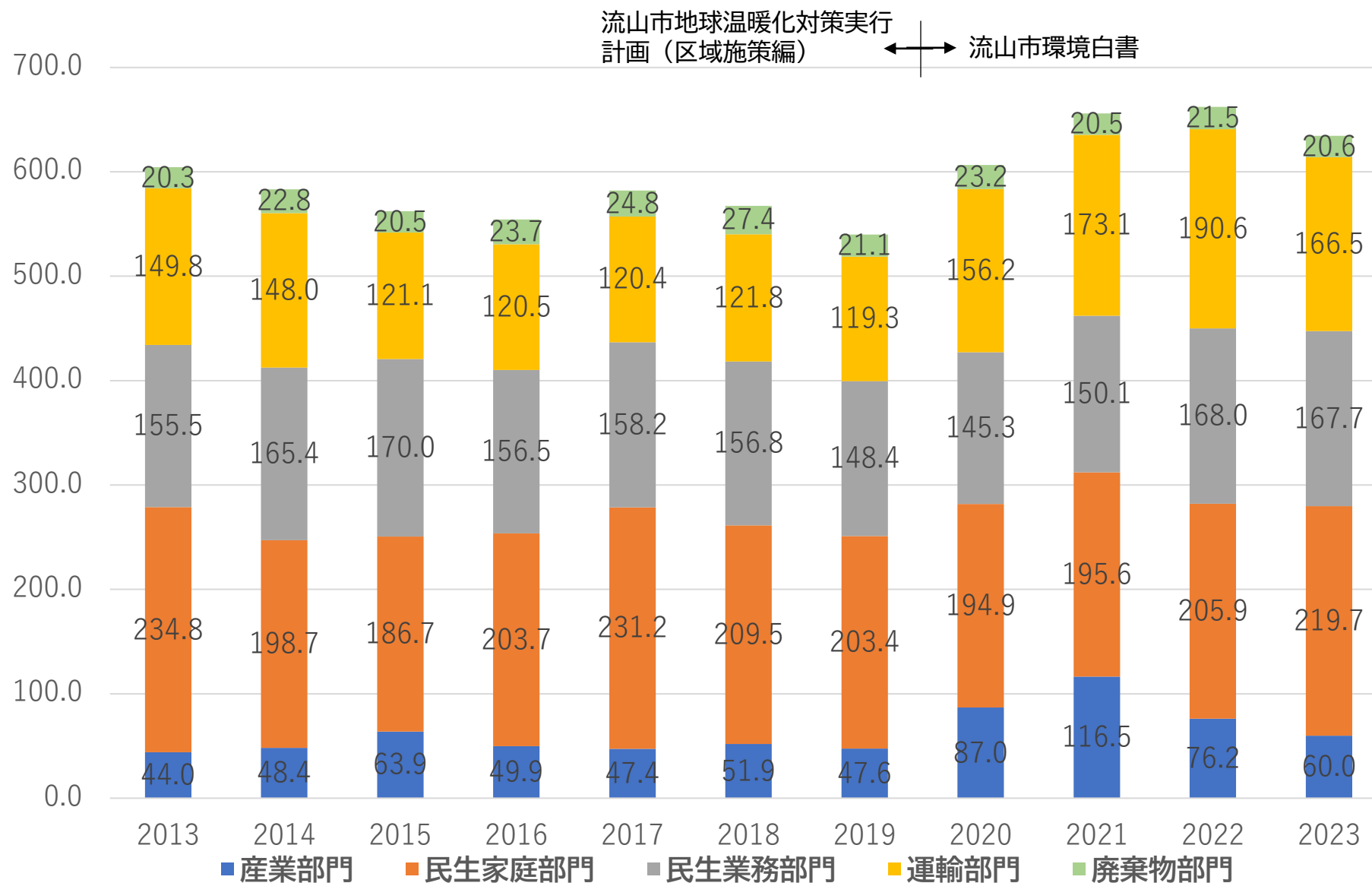
流山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の 改定について

令和 8 年 7 月 7 日 流山市環境政策課

排出量の現状

千t-CO₂

市域二酸化炭素排出量推移



現計画目標

2013年度（基準年度）
604.4千t-CO₂



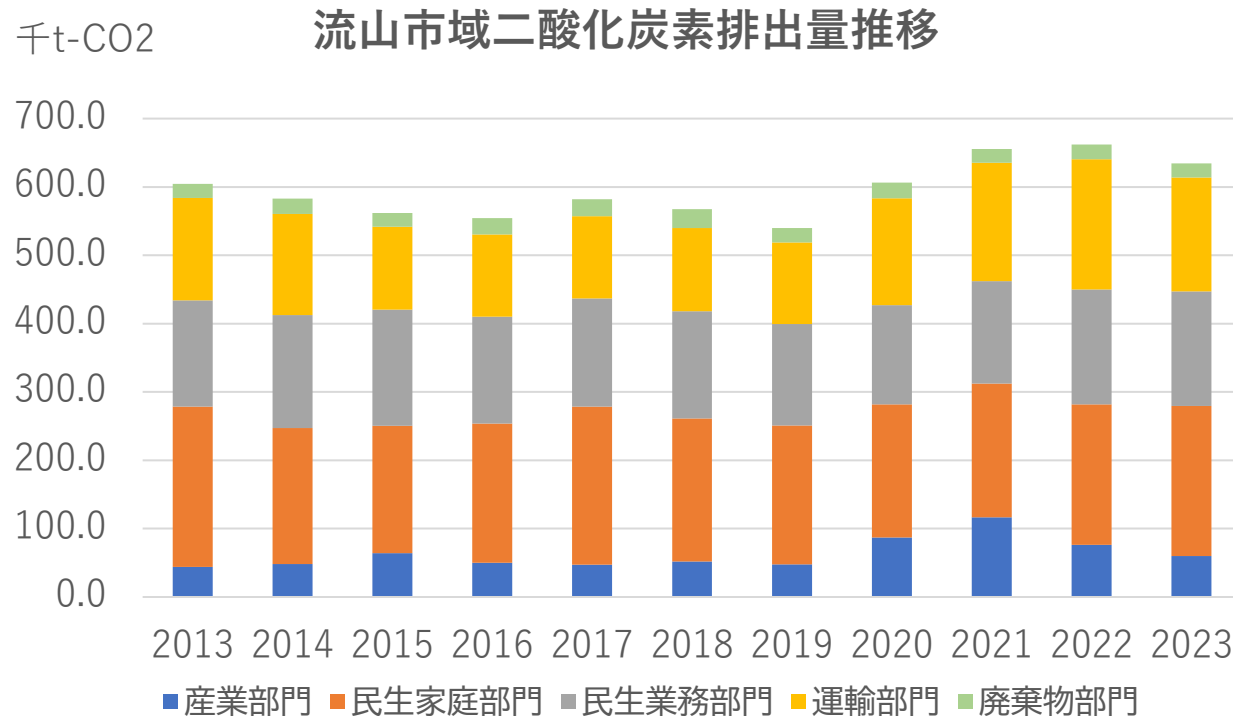
2023年度（現在）
634.5千t-CO₂



2030年度（中期目標）
326.4千t-CO₂

2050年度（長期目標）
実質ゼロ

現状分析



①2020年以降の排出量が増加している

2017年度から2019年度にかけて減少を見せているが、2020年度に2013年度以降最高の数字となり、増加、横ばいとなっている。

増加の要因？

- ・市域CO₂排出量については、毎年度環境政策課職員が算出している。
- ・2019年度までの数値は、前回改定を請けたコンサル事業者が算出した数字を使用した。
- ・排出量算出は、計画の進捗管理として重要指標であり、最新の各データを用いながら排出量算出方法の精査が必要である。

内的要因

- ・人口増加、事業所数増加など市内の各種活動量が増加した？

①2020年以降の排出量が増加している

現在の二酸化炭素の排出量算出にあたっては

- ・ 経済構造実態調査 経済産業省
- ・ 総合エネルギー統計 経済産業省
- ・ 都道府県別エネルギー消費統計 経済産業省
- ・ 千葉県統計年鑑 千葉県HP
- ・ 家計調査年報 総務省
- ・ 固定資産の価格等の概要調書 総務省
- ・ 自動車燃料消費量調査 国土交通省
- ・ 自動車保有車両数 国土交通省
- ・ 市区町村別自動車保有車両数 国土交通省
- ・ 鉄道統計年報 国土交通省
- ・ 流山市統計書
- ・ 国勢調査



事業所数、製造品出荷額、世帯当たり年間の品目別支出金額、購入数量などのデータを収集し、全国と市、県と市の按分などを経て、市の「燃料消費量」を算出



燃料消費量 × 単位発熱量 ⇒ エネルギー消費量 (J)



エネルギー消費量 × 排出係数 ⇒ CO2排出量

などを使用

①2020年以降の排出量が増加している

排出量の推移の現状分析にあたって、「自治体排出量カルテ」も用いる

環境省が自治体ごとに作成する排出量の情報。

作成する標準的手法（全国・都道府県の排出量を活動量で簡易的に按分）した排出量であり、自治体が独自に算定する排出量とは乖離が生じるとされている。

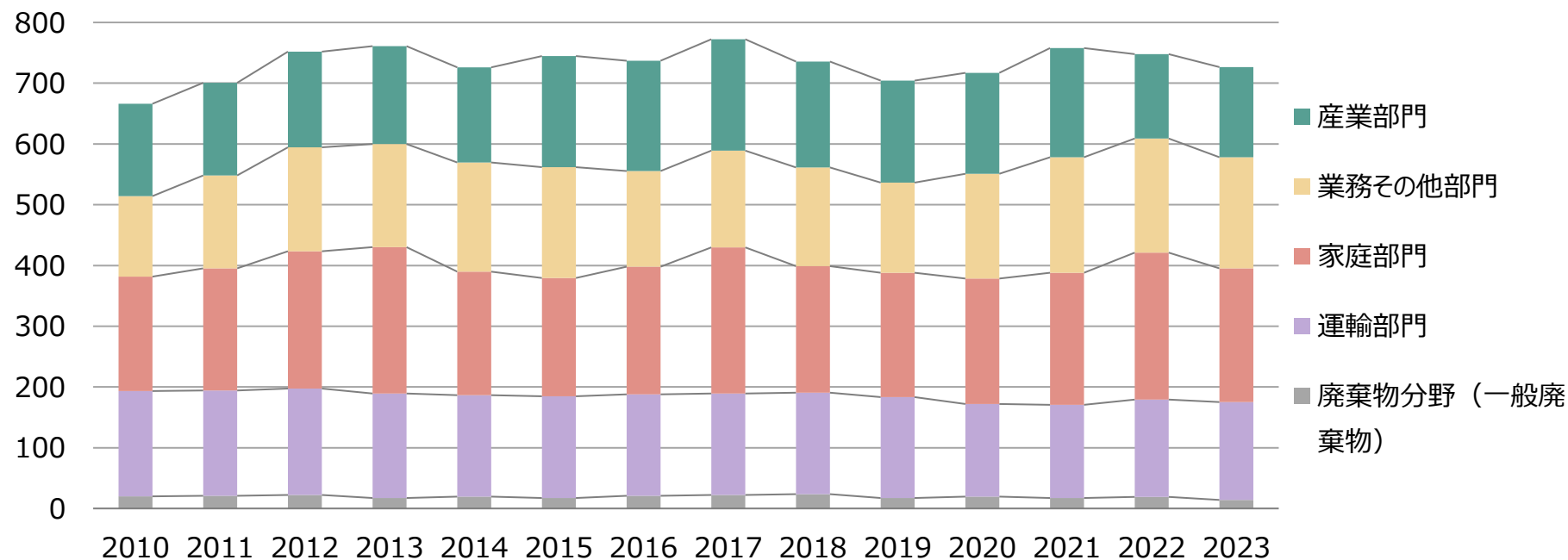
排出量の数値そのものではなく、経年推移や部門別の増減などを見る補助資料として使用したい。

※例えば排出量が増加しているのに、活動量である従業者数が横ばいであれば、電力の排出係数の増大が要因であるなど

現状分析

部門・分野別CO2排出量の推移

環境省 自治体排出量カルテ



① 2020年以降の排出量が増加している

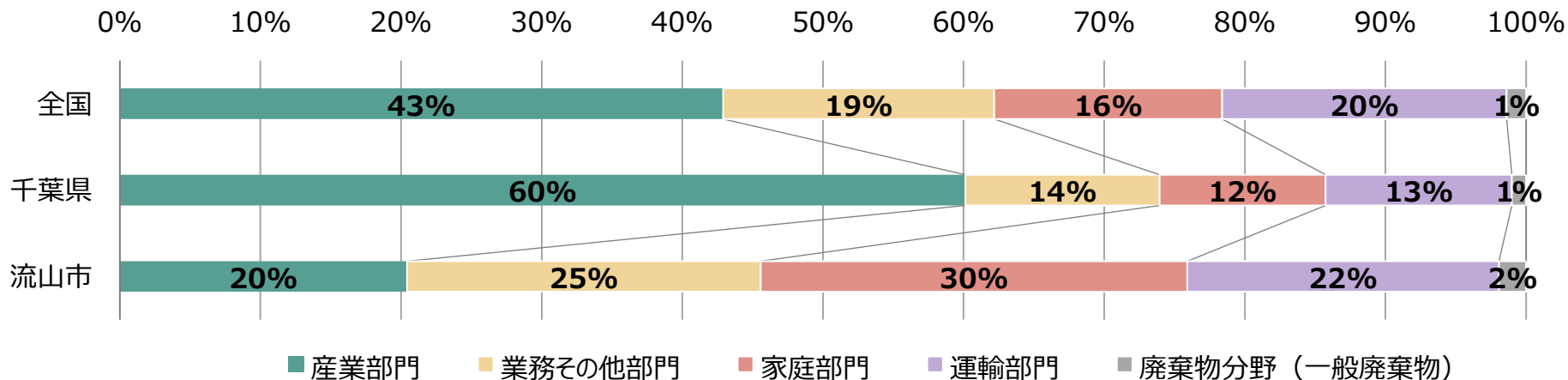


・排出量は2019年度が最低値であり、2020年度以降増加している

・民生（業務、家庭）部門が増加しているが、他はほぼ横ばい

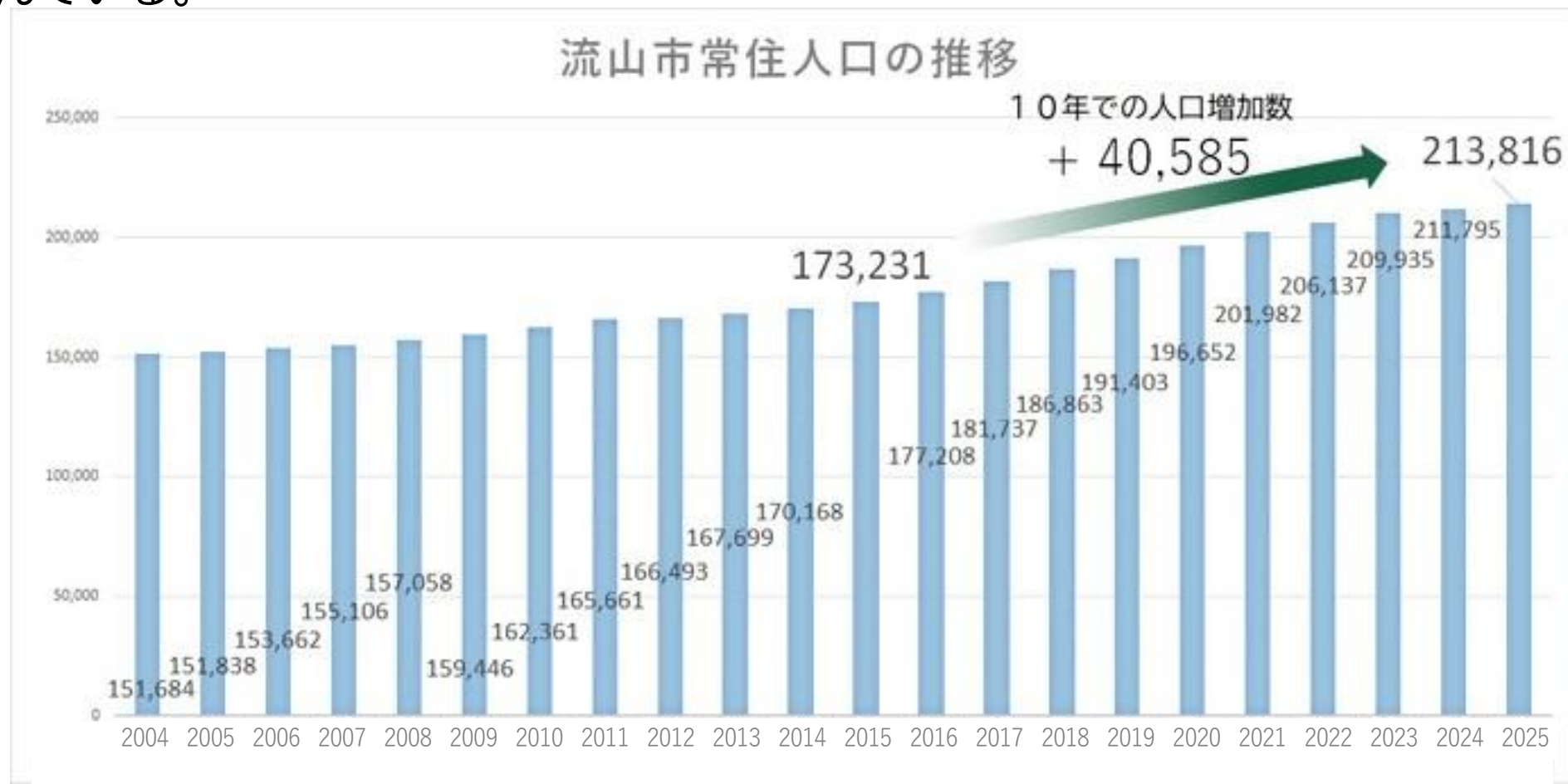
・全国や県と比較すると、民生部門と運輸が占める割合が大きい

部門・分野別CO2排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



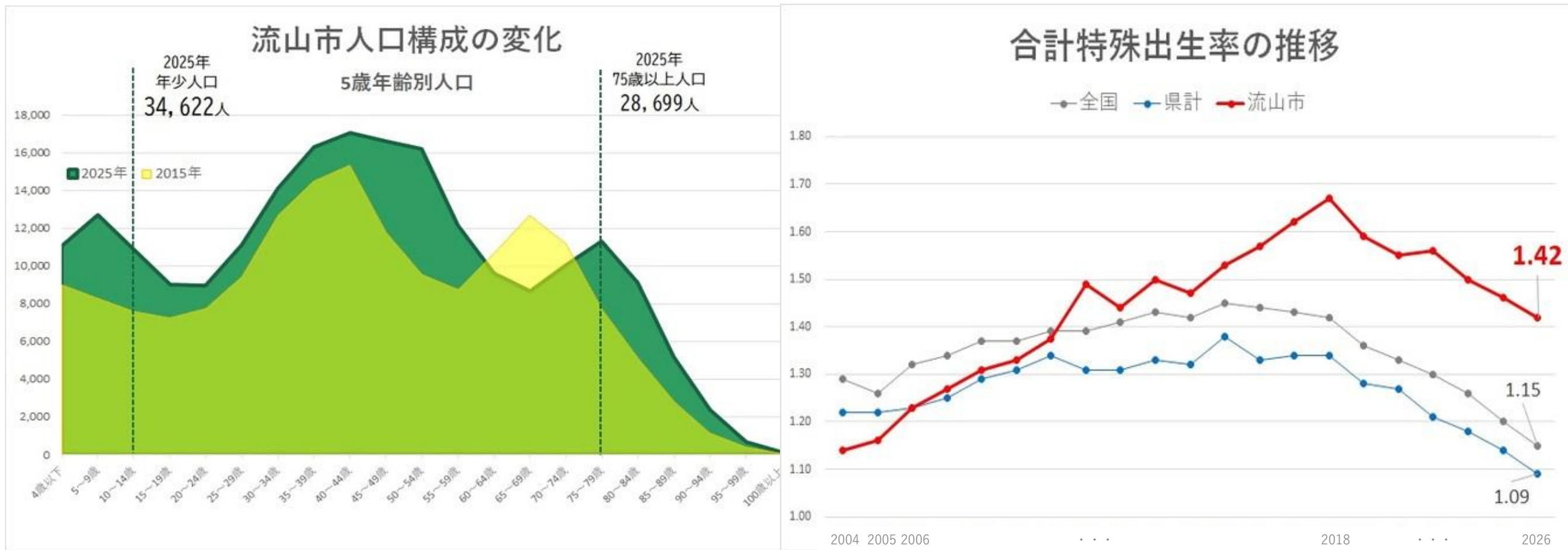
②現計画で想定していた予測値を超える現状との乖離

- ・現計画では、予測値を算出したうえで、その数字を減らすための施策を積み上げた。
- ・予測値算出時より市人口は増加傾向にあり、民生部門を始めとして各部門の減少はより厳しい状況に進んでいる。



現状分析

②現計画で想定していた予測値を超える現状との乖離



②現計画で想定していた予測値を超える現状との乖離

字名	2013		2026			
	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数増加率	人口増加率
西平井	1,787	4,357	2,634	6,433	47%	48%
鰯ヶ崎	3,003	6,964	3,781	7,926	26%	14%
木	338	936	2,039	5,724	503%	512%
南流山	7,363	16,130	11,231	21,731	53%	35%
おおたかの森（東初石5、6丁目、西初石5、6丁目）	2,330	5,566	14,898	38,693	539%	595%
古間木	365	907	562	1,292	54%	42%
前平井	295	514	652	1,079	121%	110%
後平井	167	423	741	1,896	344%	348%
江戸川台東	2403	5479	2513	4,973	5%	-10%
加	2847	7302	3216	6,817	13%	-7%



全域で人口増加が続いているわけではない

⇒地域ごとに地球温暖化対策の取り組みに差があると思われる。

③現計画に示す取り組みの効果の把握

- ・ 区域施策編の資料編でも細かに施策の一覧を積み上げたが、どの程度取り組まれたのか、効果があったのかが見えにくい。

④民生部門、運輸部門を何とかしたい

- ・ まずはこれを減らさないことには…

⇒市民の取組状況や意識を把握するための調査、アンケートのようなものが必要ではないか
(案)

- ・ 無作為、作為
- ・ 地域、世帯、年齢…
- ・ 省エネ、再エネ設備の導入状況（太陽光発電設備や蓄電池、高効率給湯器を持っているか…）
- ・ 何があれば導入しようと思うか（補助金、その他インセンティブなど）

など検討を進める